

令和5年度 経営方針

1 長崎県教育方針

長崎県の教育は、国際交流の歴史が息づく郷土の伝統と文化を継承し、豊かな自然を守るとともに、命の尊さや個人の尊厳を重んじ、公共の精神を身に付け、我が国や世界の平和と発展に貢献していこうとする調和のとれた人間の育成をめざす。

学校・家庭及び地域住民は、「教育県長崎」の確立のため、自らの役割と責任を認識し、互いに手を携え、県民挙げて子どもたちを健やかに育むとともに、生涯にわたって学び続けることのできる社会の実現を図る。

とくに、教育に携わる者は、子どもたちに深い愛情を注ぎながら、その使命を自覚し、識見と指導力を高め、本県教育の充実と発展に努めなければならない。

2 校訓 『誠実な人』

『誠実』という校訓は、多くの高校が掲げるところであるが、『～な人』を付した校訓はほとんどない。この『～な人』に込められている意味は、誠実を日常生活の中で実践しなければ意味がないという実践尊重の精神がその根本になる。この具体化・実践化に継続的に取り組む。

3 キャッチフレーズ

○「生徒が創り、動かす学校」 「人間力（強さ・優しさ・志の高さ）で勝負の浜高」

～自らの意志で「学ぶ・鍛える・奉仕する」～

○「信頼される学校 学ぶ喜びのある学校 居場所のある学校」

○「郷土の自慢、憧れの学校へ」①一丸徹底：「あいさつ」・「掃除」・「授業」

②人間力の向上：考動力・満喫力・感謝力

③生徒主導型の教育活動（教師指導型からの脱却→教師支援型）

4 教育方針（考動力・満喫力・感謝力を育成する）→人間力の強化

（1）思いやりの心を育み、何事にも感謝の気持ちを持って取り組む「誠実な人」を育成する。

（2）「徳・体・知」の調和のとれた、心身共に健康で自主性のある社会人を育成する。（考動力）

（3）小浜高校の生徒として自覚と自負を養い、協働性・連帯感を深め、明るく創造的な校風を確立する。（満喫力）

（4）郷土を愛する心を培い、地域社会の信頼に応える人材を育成する。（感謝と思いやり）

5 学校経営方針 生徒一人ひとりに向き合った、徹底した協働性と団結力

（1）教員が率先して自己研鑽に励み、誇りと使命感を持って職務に当たる。（本気・本腰・本物）
教えるという崇高な営みに携わる教育のプロとして自信を持ち、生徒をより良く導くために、まず自分を高め、磨き、鍛える。

（2）生徒たちに激動の社会や様々な困難を乗り越えていくための生きる力を身につけさせる。
生徒の心を動かし、意欲を持たせ、考えさせ、決定させる。自己責任の重さと楽しさを伝える。
（生徒主導型へ導き、可能な限り支援に徹する）

（3）様々な課題に対しては、個人ではなく「チーム浜高」として全職員で粘り強く対応する。

（4）地域を愛し、保護者の方々や地域の方々と協働して魅力ある学校づくりを推進する。
自らが地域づくりの当事者として、教育を通して地域の未来を創造する責任と地域活性化に寄与することを自覚するとともに、地域に溶け込み信頼関係を構築する。

6 本年度の努力目標 「気づき・考え・行動」(3K)

～「生徒が創り、動かす学校」の実現と「ワンランク上の進路実現」～

- 校訓「誠実な人」の具現化に一層努めると共に、学校（教員間）と地域の連携体制を充実させ、「情報の共有」・「教育活動の相互支援」を強化して、学校・地域の活性化を図る。
- 「生徒が創り、動かす学校」作りの取組みを通して、生徒の人間力の強化を図り、「自律の精神」・「やりきる力」を身につけさせ、「ワンランク上の進路実現」を追求する。
 - ①生徒一人ひとりに自分の可能性を自覚させ、その能力を発揮できる機会を多くつくる。
 - ②思いやりと優しさの心を育み、他者を認め互いの長所を活かしながら、協働する楽しさを経験させる。
- 「にぎやかな学校・中学生が憧れる学校」
※普通科・総合ビジネス科の特性をさらに充実させ、その魅力を中学生・保護者に伝える

(1) 生活指導の充実に努める（自らを律する主体的な考動力の育成）

→生徒自らがルールを作り、学校を動かす。（生徒が作る校則）

- ①基本的な生活習慣の確立と規律・秩序の遵守を通じて、公共心のある生徒を育成する。
- ②部活動の活性化と面接・相談活動を充実・活用して学校生活への適応を図る。
- ③行事は「生徒」に企画・運営をまかせ（生徒主導型）、「教職員」は可能な限り裏方に徹し、生徒に充実感・達成感を経験させるとともに、主体的考動の精神とリーダーシップを育てる。
※教師は生徒の活動を全力で支援する。（綿密な準備、組織作り、協働が重要）

(2) 学習指導の工夫改善をおこない学力の向上に努める。

- ①「浜ナビ+（プラス）」の効果的な活用と確立を図り、「自ら学ぶ力」の育成や「家庭学習」の習慣化を推進する。
- ②習熟度別学習や少人数授業を実践し、個々の有する能力の伸長を図る。

(3) 進路指導の充実・強化に努める。

- ①基礎学力を十分に身に付けさせ、希望する進路を実現させる。
- ②各学年に応じた進路指導を充実して目的意識を持たせ、努力する姿勢を培う。
- ③進路講演や職場体験等を通し、正しい職業観や勤労観の育成を図る。
- ④特に進学面については共通理解の下、一枚岩（チーム浜高）で指導にあたる。
※生徒が「挑戦したい」と思うようなはたらきかけや仕掛けを意識的に行う。特に、1年生のうちから「大学にいける力」ではなく「大学に行きたい」生徒の発掘と指導に努める。

(4) 健康・安全教育の充実と環境美化の推進に努める。

- ①遅刻・欠席など生徒の状況を早期に把握し、家庭との連絡の緊密化を図る。
- ②昼休みや放課後に校内巡視を行うなどして、生徒の状況を把握し、安全確保に努める。
- ③校舎を美しく保つことで心の安定を図るため、毎日の清掃や施錠を徹底する。
- ④何事にも初動が大事である。初動の速さに一層の磨きをかける。